

新規事業採択時評価結果（平成15年度新規事業化箇所）

事業名 <small>かみがほら</small> 上ヶ洞バイパス（一般国道361号）	事業区分 一般国道	事業主体 岐阜県
起終点 自：岐阜県大野郡 高根村 大字上ヶ洞 至：岐阜県大野郡 高根村 大字上ヶ洞		延長 2.1km

事業概要：

当区間は岐阜県高山市と長野県木曾福島町を結ぶ主要幹線道路である。昭和40年頃完成した高根第1ダムの建設により付替えられた区間の未改良部をトンネルによるバイパス整備を行うものである。

事業の目的、必要性：

現道はダム開発時の付替道路であり、道路線形は屈曲が多く縦断的にも急勾配で道路幅員も狭小である。事業区間内にトンネル4箇所、橋梁1橋あるが、そのいずれも老朽化が著しいうえ、大型車両の規制があり、地元住民の生活に支障を来している。また、防災点検における要対策箇所が未整備となっており早急な整備が必要である。

全体事業費	60 億円	計画交通量	1,800台/日
費用便益比 B/C	1.9	総費用	54 億円
		事業費	50 億円
		維持管理費	4 億円
		総便益	101 億円
		走行時間短縮便益	98 億円
		走行費用減少便益	3 億円
		交通事故減少便益	0 億円
		基準年	平成15年

事業の効果等：

- ・物流効率化の支援
（現道を総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない）
 - ・地域づくりの支援
（対象区間に大型車のすれ違い困難区間が存在する）
（飛騨地方拠点都市地域を支援する）
 - ・道路の防災対策・危機管理の充実
（第2次緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけ）
- 等 7 項目

関係する地方公共団体等の意見：

高根村内の区長会や村議会の協議会等においても、本路線の早期整備を要望する声は強い。また、平成14年5月20日開催された「岐阜県新規公共事業計画市町村委員会」において事業の推進を要望している。

事業概要図：

